

①デザイン・データ制作はAdobe Illustratorで行います。



仕上がリイメージ

②デザインデータを用意します。

Grapac Master「Designer's Tools」(印刷見本)を参考に、使用するレンズ(ハニカム/スクエア)・パターン・色を決めます。

HALSバックパターンを入れる箇所は分かりやすく色分けしておきます。

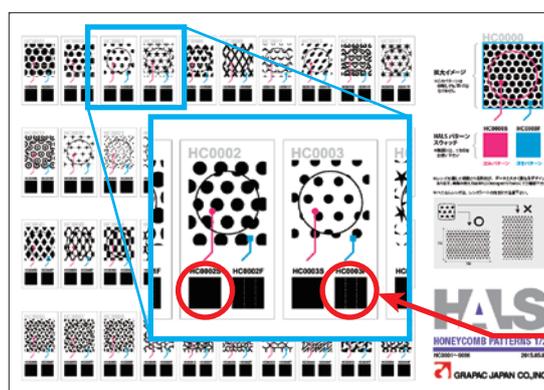


レンズシート:
0.3mm (ハニカム配列)

パターン: HC0003F
色: シアン

パターン: HC0002S
色: シアン

③HALSバックパターンデータ (ここでは『HC0001-HC0096.ai』)を開き、必要なパターンスウォッチが入ったデータ (正方形のオブジェクト)をコピーします。



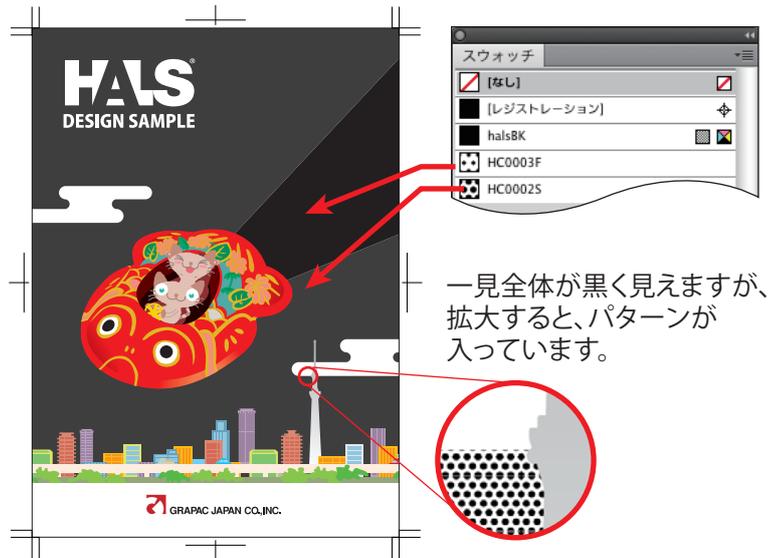
これを
コピーします

④③でコピーしたオブジェクトを制作中のドキュメントにペーストします。

スウォッチにパターンデータが登録されます。(登録後、ペーストしたオブジェクトは不要なので削除して下さい)

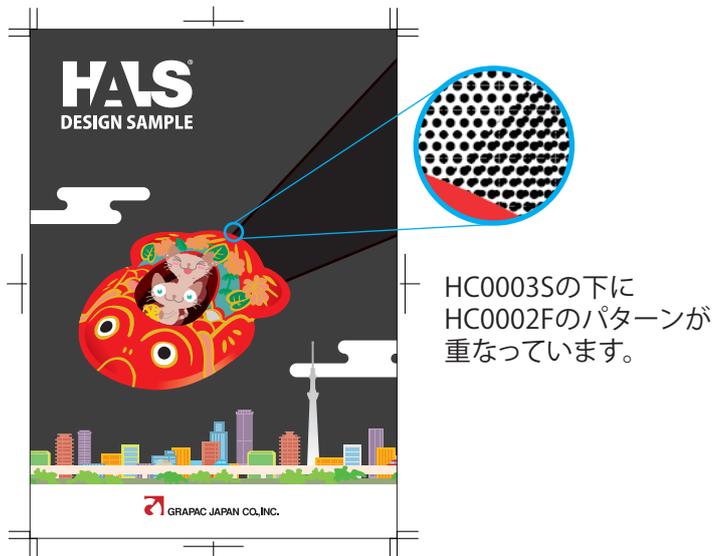


- ⑤ 該当箇所の塗りにパターンスウォッチを適応します。



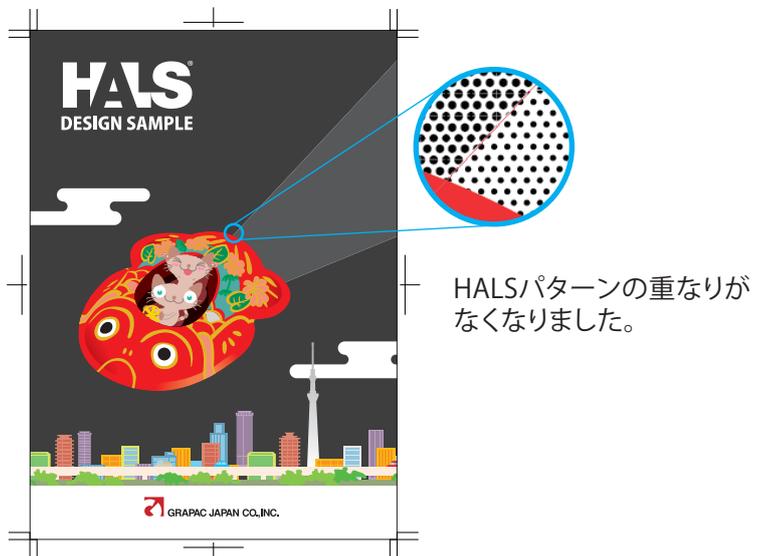
- ⑥ 配布しているHALSバックパターンスウォッチは背景が透明になっています。

この絵柄ですと、HC0002Fの塗りの下にHC0003Sが透けていますので、背景に白い塗りのオブジェクトを敷いて下の絵柄を避ける必要があります。



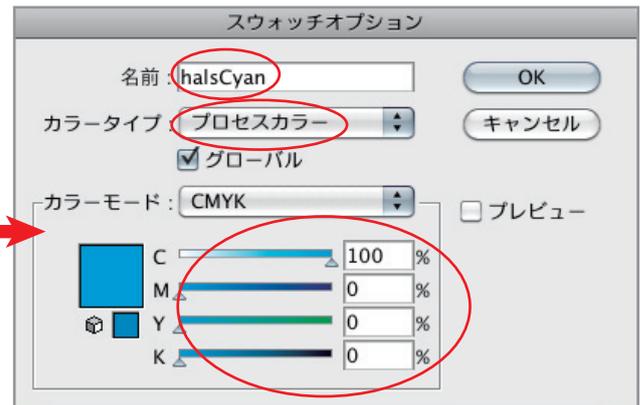
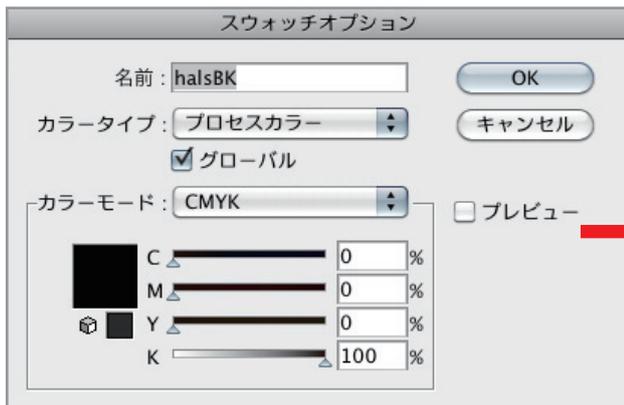
- ⑦ HC0003Sの入っているオブジェクトをコピーして同じ位置の背面にペーストします。
(ctrl+B / command+B)

ペーストしたオブジェクトの塗りを白にします。



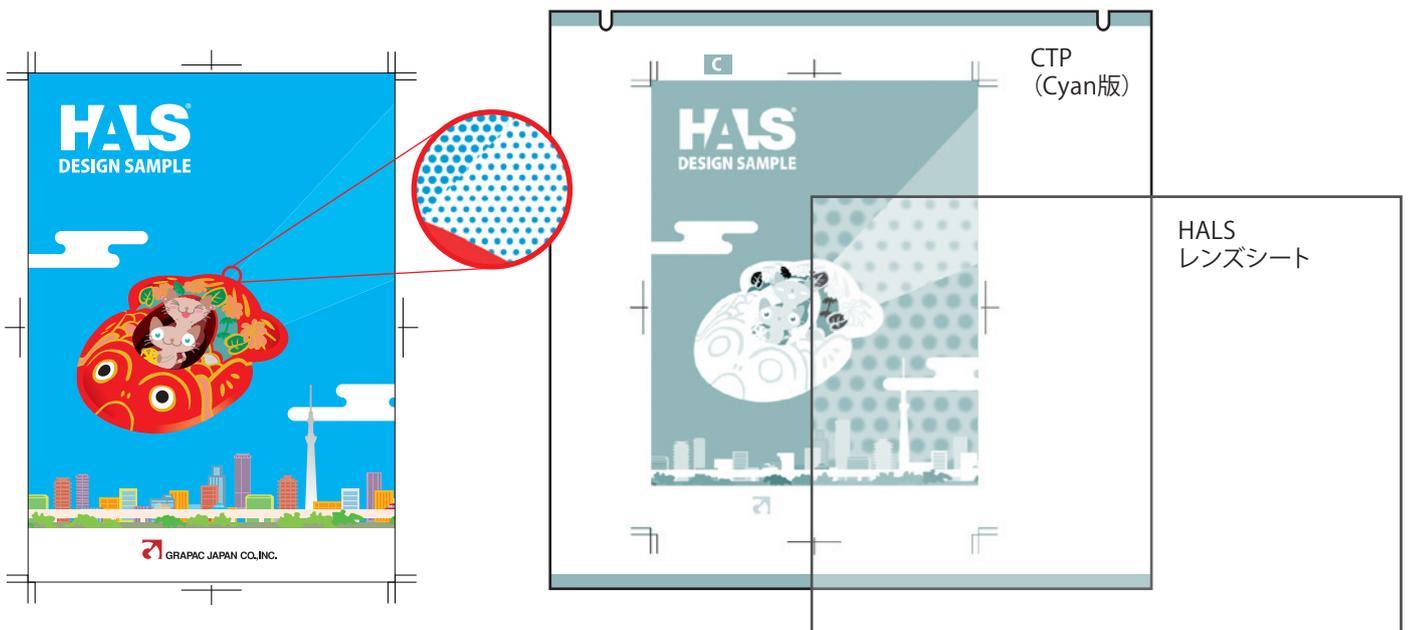
⑧ 配布しているHALSバックパターンはプロセスカラーのBKで作成されているので、ここではシアンに設定しなおします。

パターンを読み込んだ時に同時に登録された『halsBK』のカラーズワッチをダブルクリックで開き、以下の様に修正します。



⑨ 完成です。

印刷する前に必ず、フィルム又はCTP版に出力し、上からレンズシートを当てて3Dパターンが見えるかどうかご確認ください。



ご注意

- ・ 配布しているパターンズワッチは拡大／縮小／回転せずにお使い下さい。
- ・ ハニカム配列のレンズシートには、レンズの向きがあります。出力したフィルム/CTP版で3Dパターンが出ていない時は、レンズを90度回転してみてください。